

教科(科目)	家庭 (家庭基礎)	単位数	2	学年(コース)	2学年
使用教科書	実教出版「家庭基礎 気づく力 築く未来」				
副教材等	実教出版 2025生活学 Navi 資料+成分表				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育成します～ ①確かな学力と豊かな人間性を身に付け、様々な場面に対応できる知識・技能を有し、何事にも主体的・創造的に取り組む力を育てます。 ②国際感覚や多様性を理解する姿勢を身に付け、広い視野を持ち、他者と協働し社会に貢献する態度を育てます。 ③よりよい社会を創造するリーダーとなるにふさわしい精神と、高い目標の実現のために粘り強く努力し続ける姿勢を育てます。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①生徒の資質能力の最大限の伸長のために、適切な科目の配置やICTの活用などに取り組み、確かな学力に基づいた思考・判断・表現する力を育成します。 ②生徒の個性を尊重した進路実現のために、地域の人的資源を活用して様々な体験をする機会を設け、キャリア教育の充実を図ります。 ③生徒の視野を広げ、多様な価値観を身に付けさせるために、様々な探究活動や体験活動を通して、教科横断的な思考と協働活動の中で合意形成する力を育てます。

2 学習目標

- ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3 指導の重点

自立をうながし、生活力を身につけさせるために、実践的・体験的な学習活動を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を目指す。

また、互いに協力して、主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てることを目指す。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	・定期考査 ・グループでの話しあい、発表 ・レポート作成 ・プリント提出 ・実習作品提出 等	・定期考査 ・グループでの話しあい、発表 ・レポート作成 ・プリント提出 ・授業中の取り組み 等	・グループでの話しあい、発表 ・レポート作成 ・プリント提出 ・授業中の取り組み 等

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	家庭科を学ぶにあたって 第1章 これからの人生について考えてみよう 第2章 自分らしい生き方と家族 1.自立と共生 2.ライフキャリア 3.共に生きる家族 4.家族に関する法律	1 1 7	教科書 副教材	・青年期の特徴について学ぶ。 ・これからの自分自身と社会のあり方を展望する。 ・働く意義と自分が働きたいと思う仕事を考える。 ・職業労働と家事労働の違いをまとめる。 ・「家族」の条件とは何か考える。 ・家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考える。 ・家族に関する法律の資料を見ながら、考えをまとめて話し合う。 ・家族の抱える問題について学び、具体的なサポートのあり方について考える。	a b a b c	・グループでの話しあい、発表 ・レポート作成 ・プリント提出 等
5 6	第6章 食生活をつくる 1.日本の食文化の形成 2.私たちの食生活 3.栄養と食品のかかわり 4.食品の選び方と安全 5.食事の計画と調理 6.これからの食生活を考える	9	教科書 副教材	・食生活の問題点に気づく。 ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食品衛生(食品の選択,食中毒,食品添加物)について学ぶ。 ・食事摂取基準,食品群別摂取量などについて学ぶ。 ・日本の食料自給率や食に関する環境問題について考える。 ・環境に配慮した食生活(食品ロス等)について考える。	a b c	・グループでの話しあい、発表 ・レポート作成 ・プリント提出 等
7	第7章 衣生活をつくる 1.人と衣服のかかわり 2.衣服の素材の種類と特徴	7	教科書 副教材	・衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。 ・快適な衣服の特徴や機能について考える。 ・暮らしの中での素材衣服の性能と改善について学ぶ。	a b c	・定期考査 ・グループでの話しあい、発表 ・レポート作成 ・プリント提出 等

[illegible]

ランニング 第8章 住生活をつくる	2		消費行動について考える。 ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 ・金融商品の特徴と選択基準を学ぶ。	a b	
※生活の知恵	2			a b	

計 64 時間 (55 分授業)

7 課題・提出物等

- ・授業プリント・グループ学習時プリント等の提出。
- ・実習作品の提出。
- ・時に長期休業時の課題提出もあり。

8 担当者からの一言

社会の一員として考え、自身の意見を持ち、適切な行動ができるように。
また、現在の生活および将来のライフスタイルを考えて生活を実践していけるよう、基礎知識を学び実技習得を通して、創造的・意欲的に楽しみながら共に学びましょう。

(担当:岸野 節子)